

ろうきん賃金控除事務支援サービス  
電子証明書取得方法のご案内

中央労働金庫

202409

# も く じ

1. 電子証明書取得時の注意事項 P. 2

2. ブラウザの設定 P. 3

3. ポップアップブロックの設定確認および信頼済みサイトの登録 P. 9

4. 電子証明書の取得作業 P. 16

※本冊子掲載の画面とお客様の画面では、ご利用のパソコン、OS、ブラウザや文字サイズ、解像度の設定、お申込時のサービス内容、ユーザー権限によって、表示が異なる場合があります。

※Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

## 1. 電子証明書取得時の注意事項

1 賃金控除事務支援サービスを利用するパソコンをお決めください。

「2名以上」でご利用の場合・・・

※他のユーザーと同一のパソコンで利用したい → ご利用可能です。

※他のユーザーとは別のパソコンで利用したい → ご利用可能です。

2 ご利用のパソコン環境にあわせて下記の設定を行ってください。



Microsoft Edge (通常モード) でご利用の場合は、本マニュアルの P.3 へすすんでください。



Microsoft Edge IE モードでご利用の場合は、当金庫ホームページ掲  
示の別冊『ご利用マニュアル～ Microsoft Edge IE モード設定手順  
～』に沿って設定してください。別冊での設定が完了した後は、本  
マニュアルの P.16 へすすんでください。

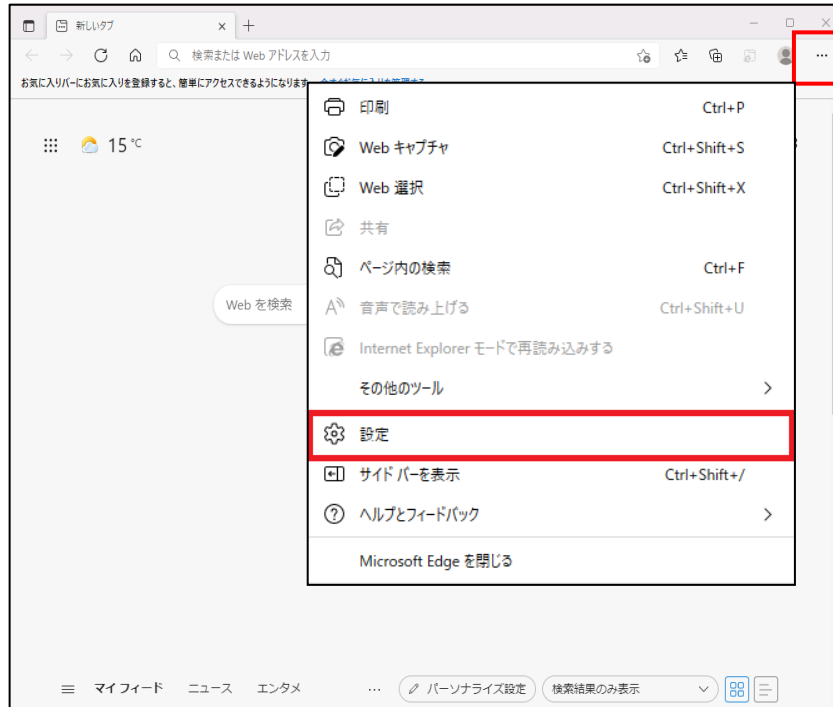
ご注意ください！



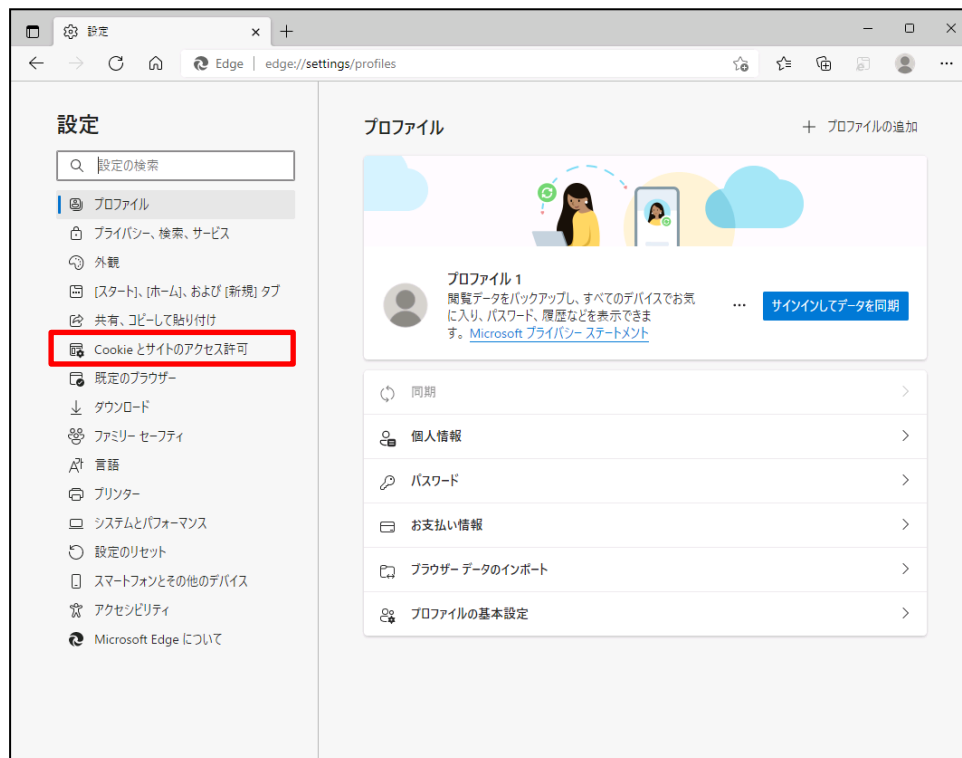
- Microsoft Edge (レガシー版) ・Firefox ・Google Chrome等については、ご利用いただけません。
- Microsoft公式サイトから最新の「Microsoft Edge」(Chromium版)をダウンロードしてください。

## 2. ブラウザの設定

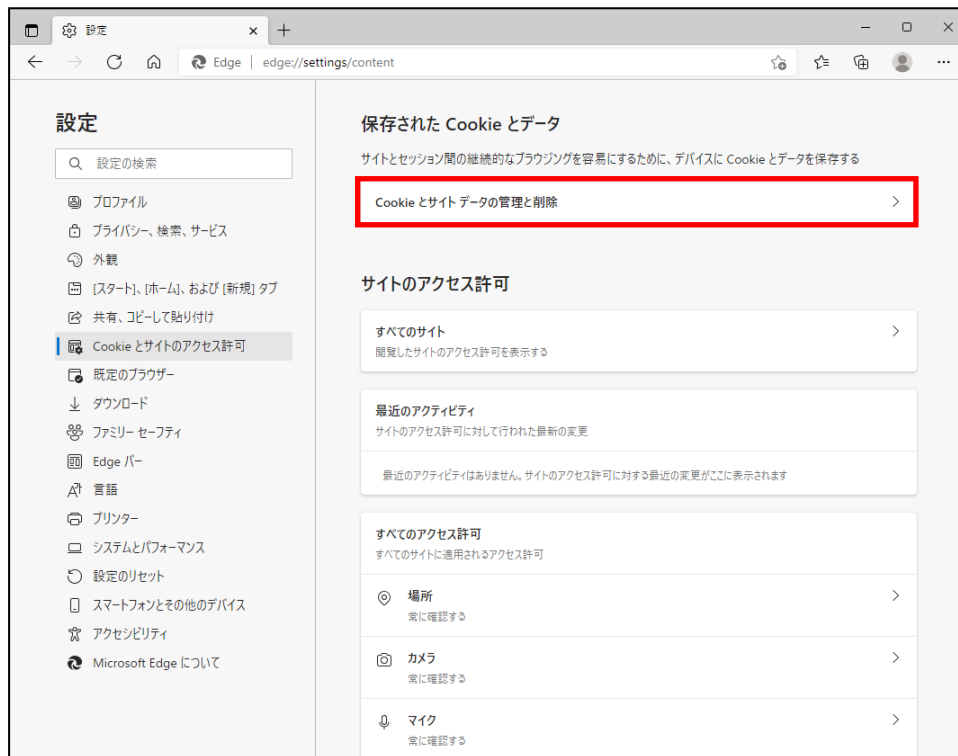
- ① Microsoft Edge を起動し、右上の「…」からメニューを展開し、「設定」をクリックします。



- ② 「Cookie とサイトのアクセス許可」をクリックします。



③ 「Cookie とサイトデータの管理と削除」をクリックします。



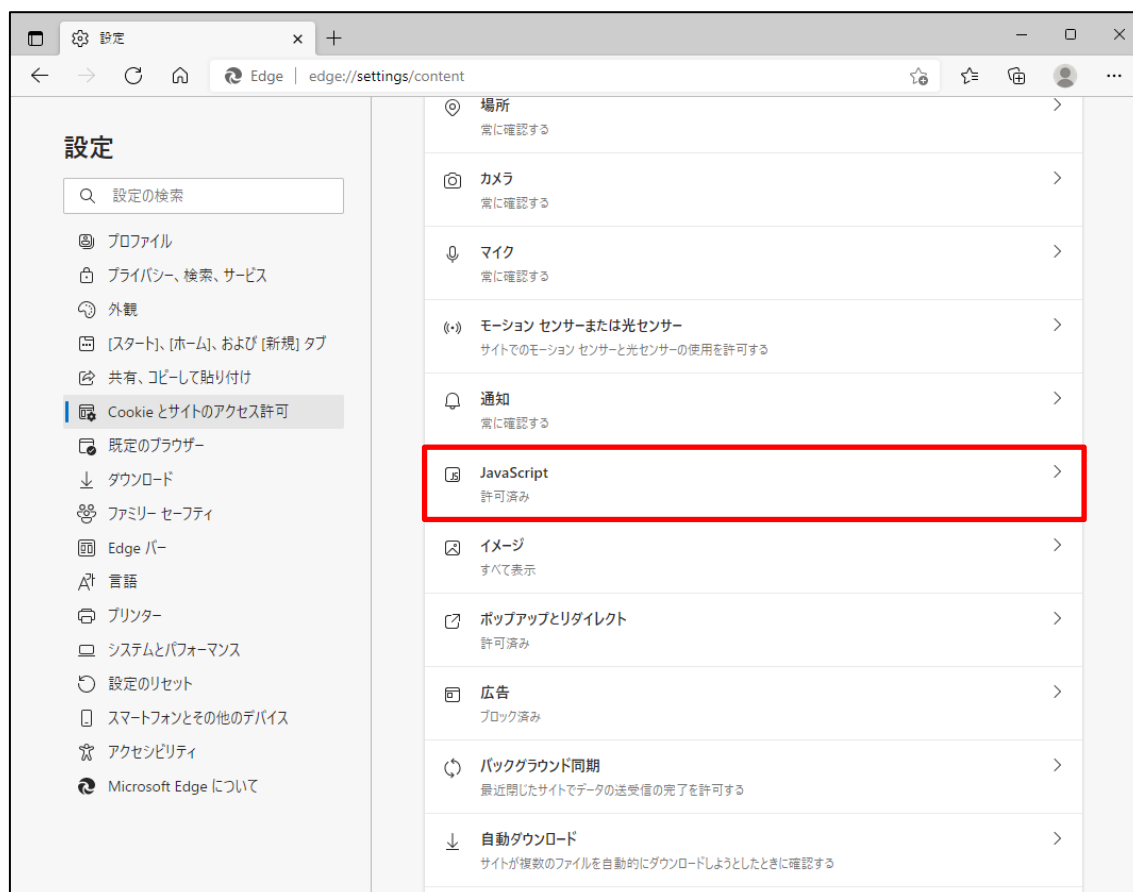
④ 「Cookie データの保存と読み取りをサイトに許可する (推奨)」が有効になっていることを確認してください。「無効」()になっている場合は、「有効」()に設定してください。



- ⑤ 設定確認後「← 保存された Cookie とデータ」の部分をクリックし前画面へ戻ります。



- ⑥ 「JavaScript」が「許可済み」になっていることを確認してください。「ブロック済み」になっている場合は、「JavaScript」をクリックし下記画面で「許可済み」に設定してください。



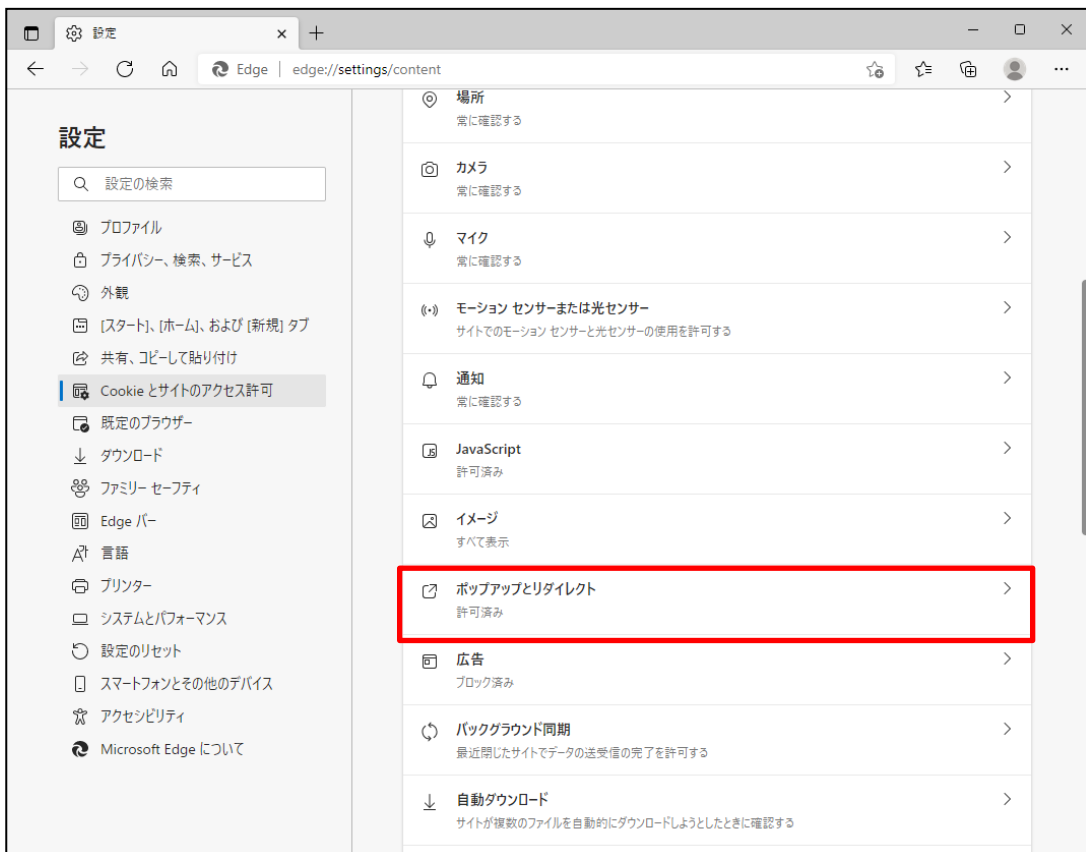
【「ブロック済み」を「許可済み」（推奨）に変更する場合】

「無効」()になっている場合は、「有効」()に設定してください。

「許可済み」（推奨）に変更後、「← サイトのアクセス許可」の部分をクリックし前画面へ戻ります。



⑦ 「ポップアップとリダイレクト」が「許可済み」になっていることを確認してください。「ブロック済み」になっている場合は、「ポップアップとリダイレクト」をクリックし、下記ア～ウによりサイトの許可を設定してください。



ア. 「許可」の項目欄にある、「追加」ボタンを押します。



イ. 「サイトの追加」画面が表示されるので「https://www.cjs-rokin.jp」のURLを入力し「追加」ボタンを押します。



ウ. 「許可」の項目欄に先ほど入力したサイト URL 「https://www.cjs-rokin.jp」が表示されます。





⑧ 「ダウンロード」をクリックします。

「ダウンロード時の動作を毎回確認する」が有効になっていることを確認してください。「無効」()になっている場合は、「有効」()に設定してください。



### 3. ポップアップブロックの設定確認および信頼済みサイトの登録

- ① タスクバーの検索ボックスに“インターネット”と入力し、「インターネットオプション」が選択されていることを確認して **開く** をクリックします。

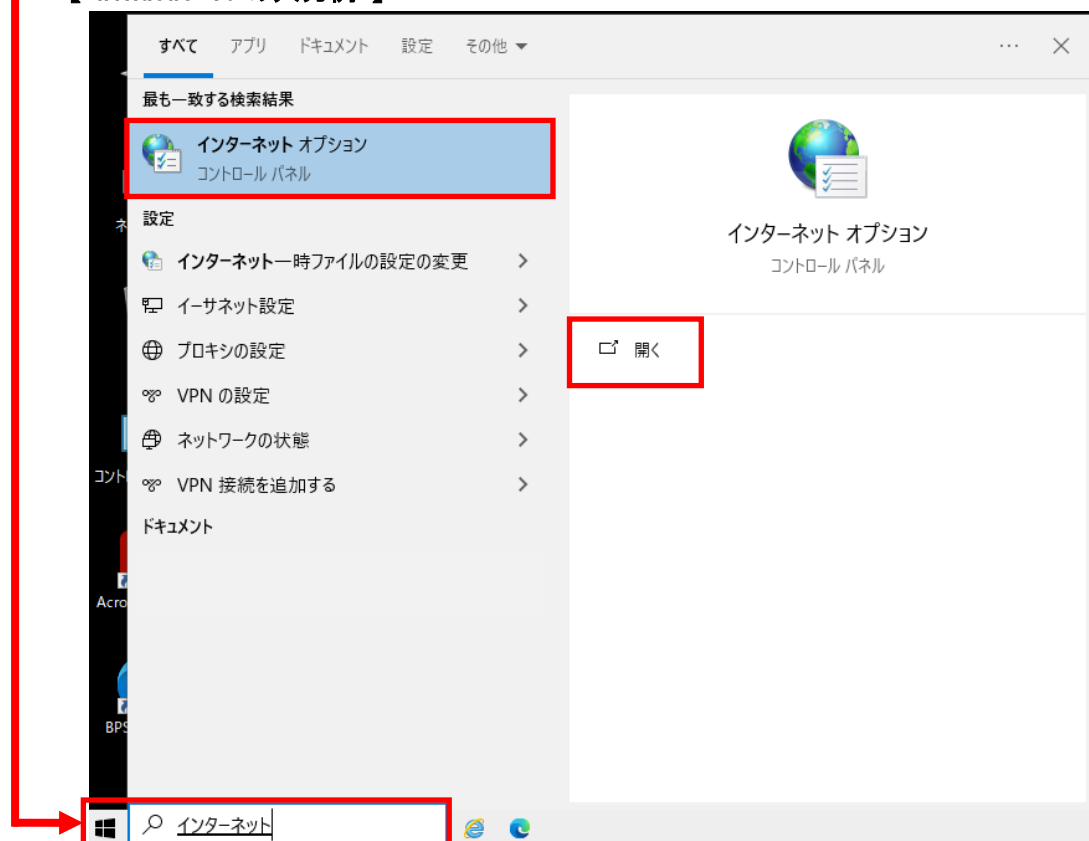
<Windows 10 の場合>



<Windows 11 の場合>



【 Windows 10 の入力例 】

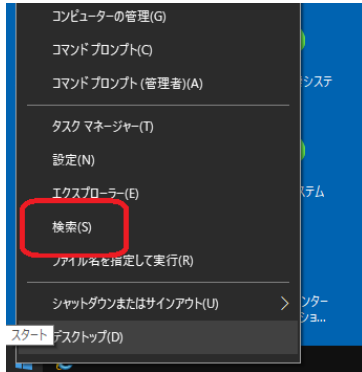


**ワンポイント!**

**【タスクバーに検索ボックスが無い場合の検索方法】**

**<Windows 10 の場合>**

Windowsスタートボタンを右クリックして、**検索** をクリックします。

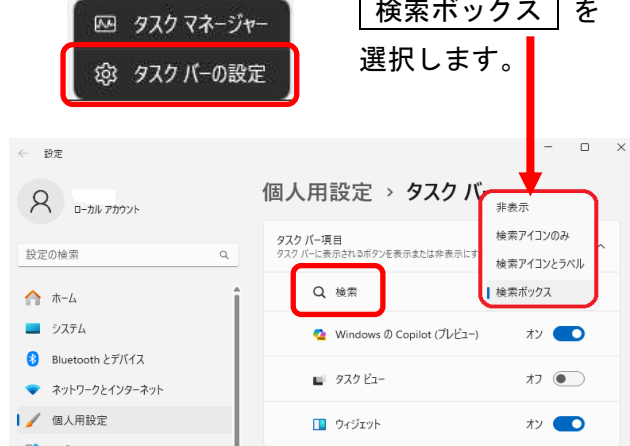


**<Windows 11 の場合>**

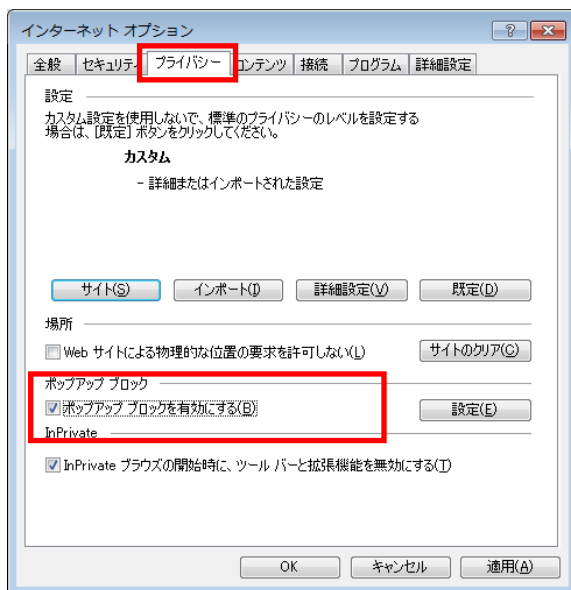
タスクバーを右クリックして、

**タスクバーの設定** → **検索** から、**検索ボックス** を

選択します。



② **プライバシー** をクリックし、ポップアップブロックの設定を確認します。



ポップアップブロックを有効にするが☑となっている場合は、P. 11 の「③」へすすんでください。

ポップアップブロックを有効にするが☐となっている場合は、P. 12 の「⑥」へすすんでください。

- ③ ポップアップブロックの **設定** ボタンをクリックします。

<Windows 10 の場合>

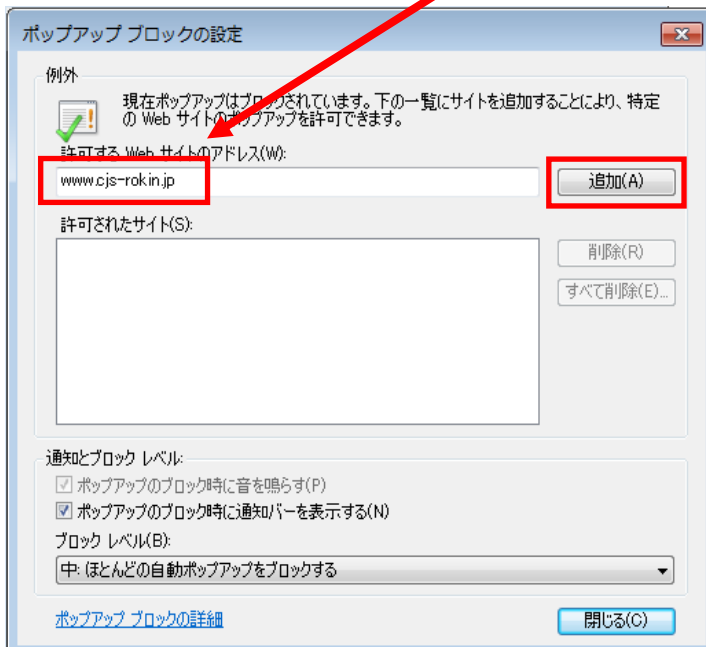


<Windows 11 の場合>

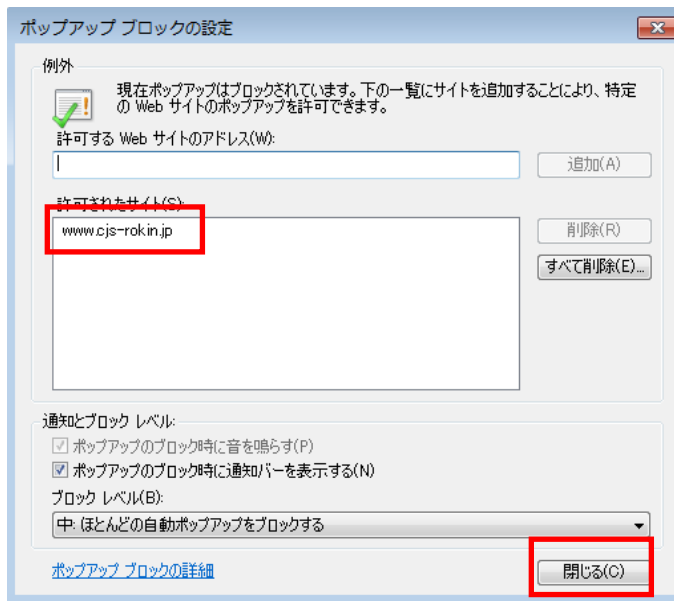


- ④ 許可する Web サイトのアドレス欄に「[www.cjs-rokin.jp](http://www.cjs-rokin.jp)」を入力し、**追加** ボタンをクリックします。

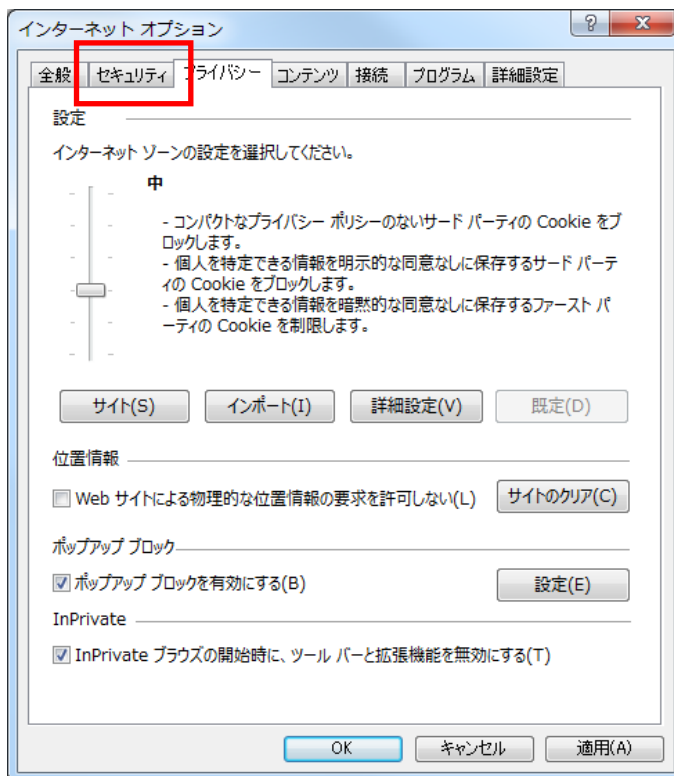
アドレス	<a href="http://www.cjs-rokin.jp">www.cjs-rokin.jp</a>
------	--



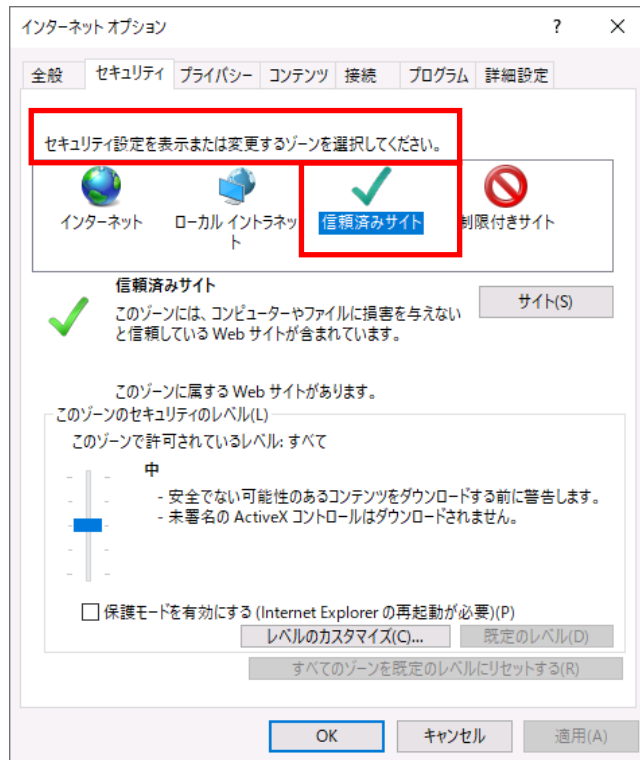
- ⑤ 許可されたサイト欄にアドレスが追加されたことを確認し、**閉じる** ボタンをクリックします。



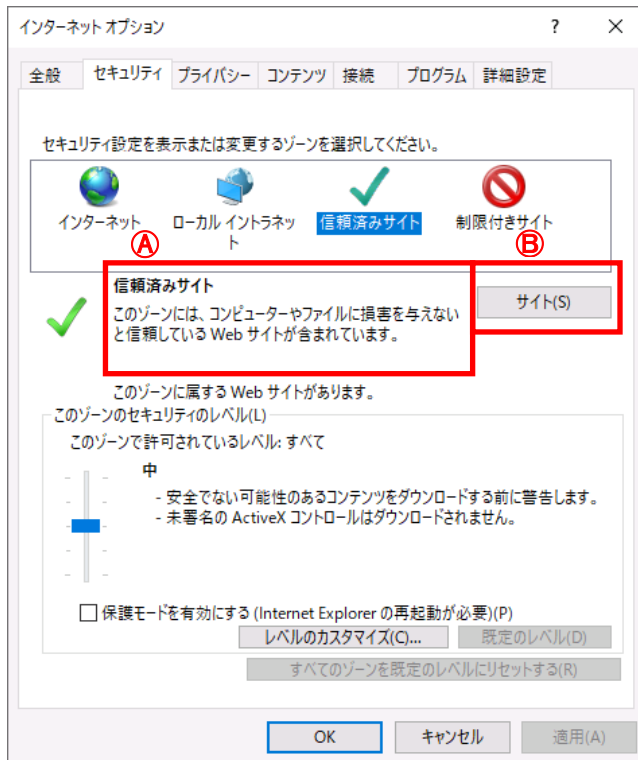
- ⑥ **セキュリティ** をクリックします。



- ⑦ 「セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。」の信頼済みサイトをクリックします。



- ⑧ ① ゾーン下部が信頼済みサイトとなっていることを確認し、  
② サイト ボタンをクリックします。




- ⑨ この Web サイトをゾーンに追加する欄に「<https://www.cjs-rokin.jp>」を入力し、**追加** ボタンをクリックします。

アドレス	<a href="https://www.cjs-rokin.jp">https://www.cjs-rokin.jp</a>
------	---

信頼済みサイト ×

 このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D):

<input type="text" value="https://www.cjs-rokin.jp"/>	<input type="button" value="追加(A)"/>
---	--------------------------------------


Web サイト(W):

<input type="text"/>	<input type="button" value="削除(R)"/>
----------------------	--------------------------------------

このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする(S)

- ⑩ Web サイト欄にアドレスが追加されたことを確認し、**閉じる** ボタンをクリックします。

信頼済みサイト ×

 このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D):

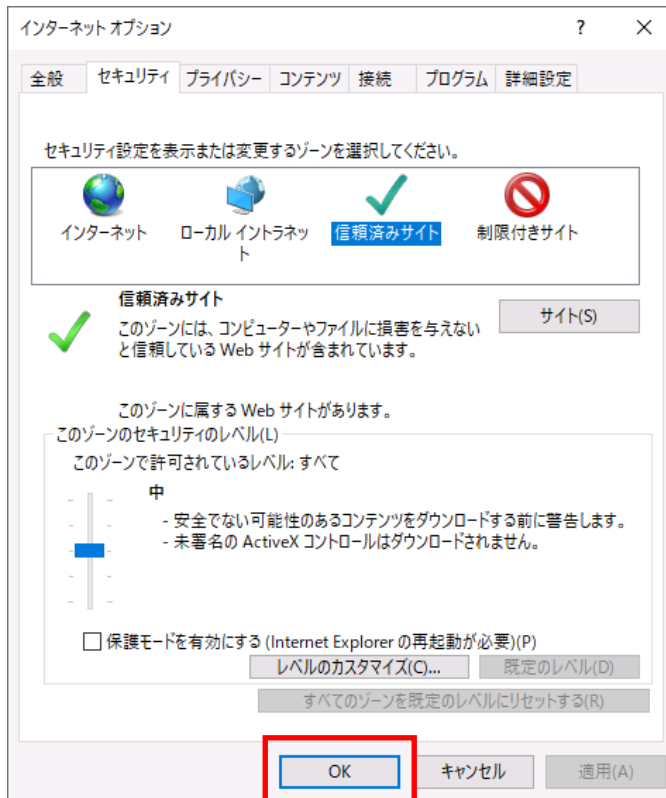
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加(A)"/>
----------------------	--------------------------------------

Web サイト(W):

<input type="text" value="https://www.cjs-rokin.jp"/>	<input type="button" value="削除(R)"/>
---	--------------------------------------

このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする(S)

- ⑪ **OK** ボタンをクリックしてインターネットオプションを閉じます。





## 4. 電子証明書の取得作業

- ① ブラウザを開き（インターネットに接続し）、次のURLにアクセスします。



※中央ろうきんのホームページ → 各種サービス（会員団体向けサービス） → ろうきん貸金  
控除事務支援サービス からアクセスできます。

- ② サービスへのログイン／初期登録 ボタンをクリックします。



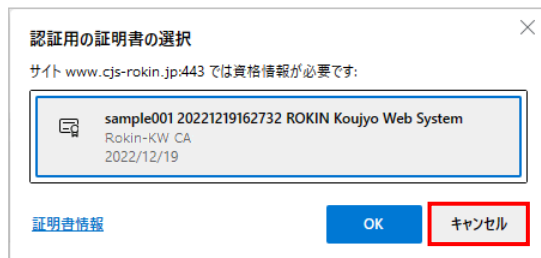
### ワンポイント！

サービスのURLを「お気に入り」に追加しておくと、次回以降ご利用の際に便利です。

③ 以下の画面が表示された場合は、**キャンセル** ボタンをクリックします。

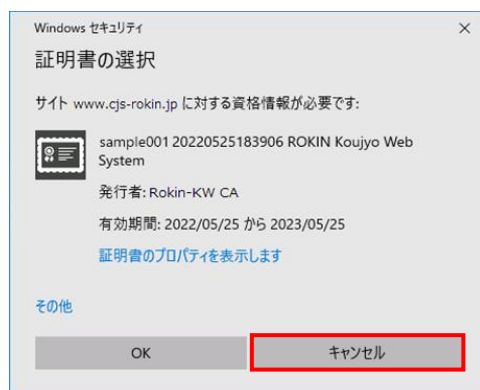
(表示されない場合は、④へ進んでください。)

【Microsoft Edge (通常モード) の場合】



【Microsoft Edge (IE モード) の場合】

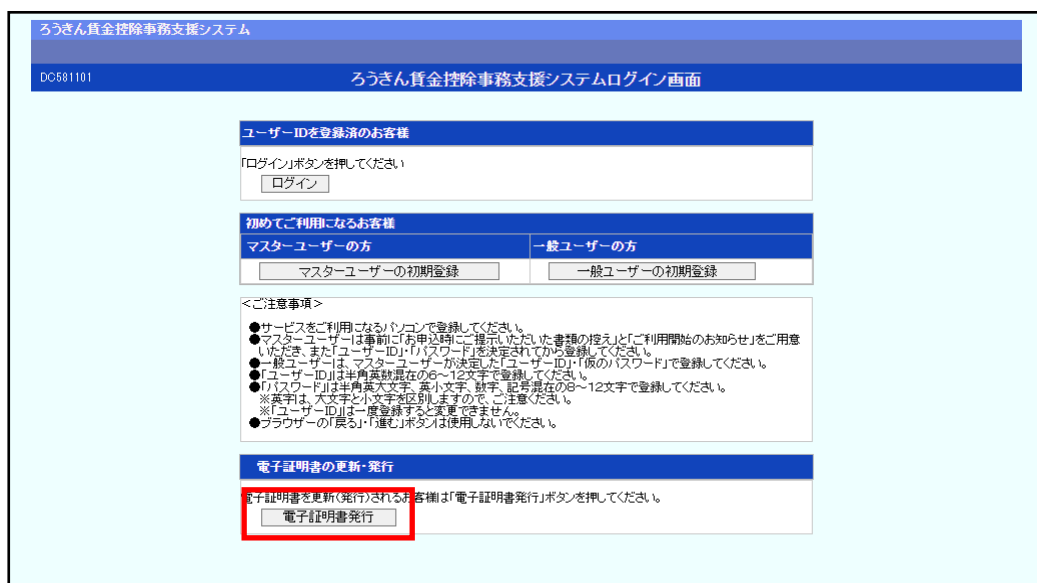
<Windows 10 の場合>



<Windows 11 の場合>



④ **電子証明書発行** ボタンをクリックします。



- ⑤ ユーザーID/パスワードを入力して、**認証** ボタンをクリックします。

- ⑥ ご登録のメールアドレス宛に送信された認証コード（半角数字 6 桁/有効期限 30 分）を入力し、**認証** ボタンをクリックします。

- ⑦ **発行** ボタンをクリックします。

⑧ 発行中は「電子証明書発行中」画面が表示されます。そのままお待ちください。

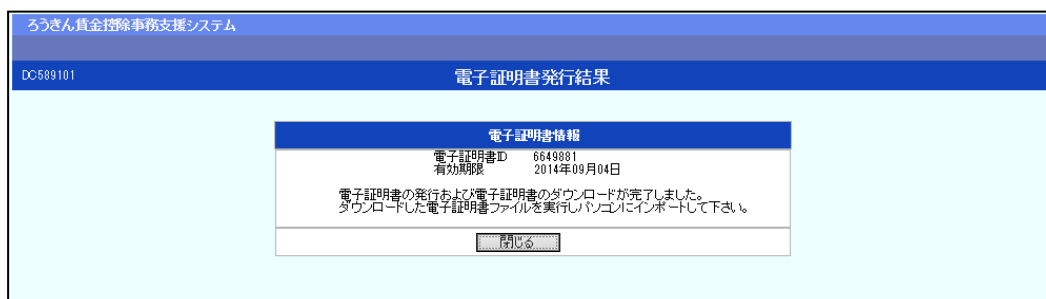
※ 電子証明書の発行は、数十秒かかる場合があります。



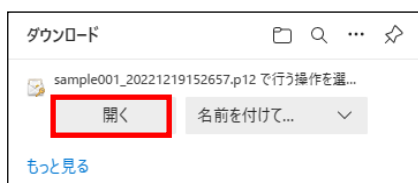
⑨ 画面に表示された電子証明書発行結果を確認します。

電子証明書発行画面が表示されると同時に、拡張子が「p12」の電子証明書ファイルが自動でダウンロードされ、下記ア.【Microsoft Edge (通常モード) の場合】または、イ.【Microsoft Edge (IE モード) の場合】の画面が表示されますので、[開く]または [ファイルを開く] ボタンを押してください。

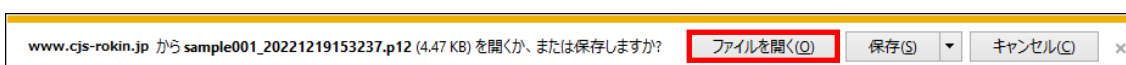
※ **閉じる** ボタンをクリックしないでください。



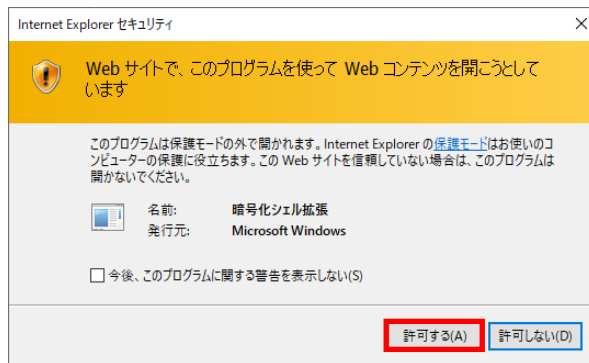
ア. 【Microsoft Edge (通常モード) の場合】



イ. 【Microsoft Edge (IE モード) の場合】



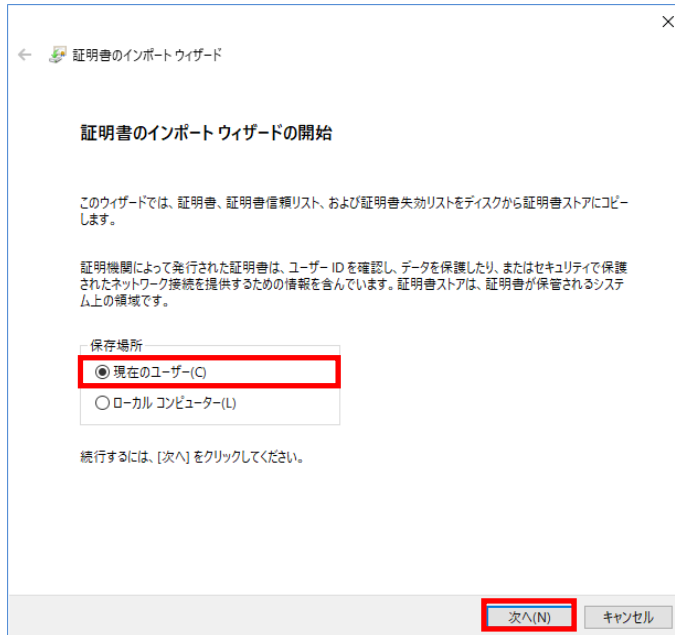
※Internet Explorer セキュリティ画面が表示される場合は、**許可する** ボタンを押してください。



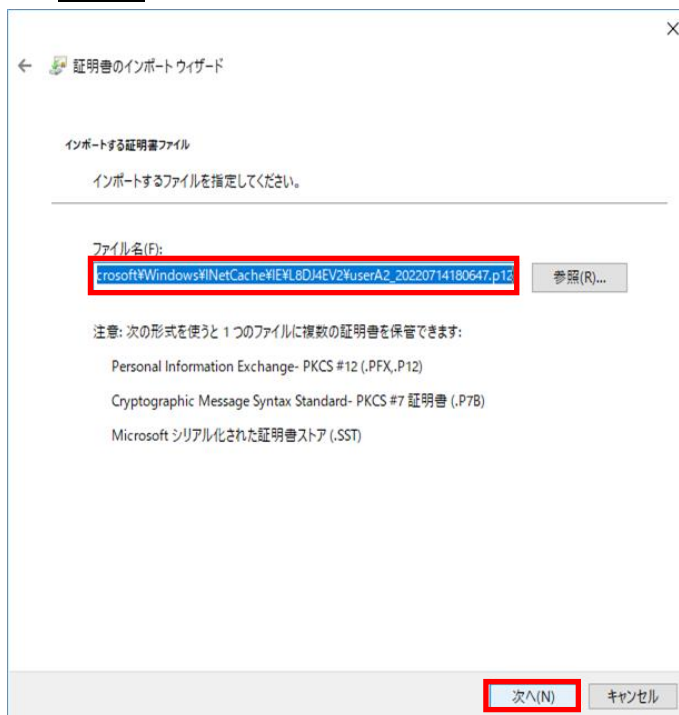
**ご注意ください！**

- 電子証明書の「p12」ファイルを開かずに終了した場合は、電子証明書が既に発行済みとなっているため、再度電子証明書を発行するためには電子証明書を失効する必要があります。
- 電子証明書を失効するにはろうきんへお問い合わせ下さい。
- ダウンロードフォルダに保存した場合は、電子証明書の「p12」ファイルをダブルクリックもしくは右クリックから[開く]を選択してください。

- ⑩ 証明書のインポートウィザードが開始されます。保存場所に「現在のユーザー (C)」を選択し、**次へ** ボタンを押してください。



- ファイル名にインポートする電子証明書の「p12」ファイルが選択されていることを確認し、**次へ** ボタンを押してください。



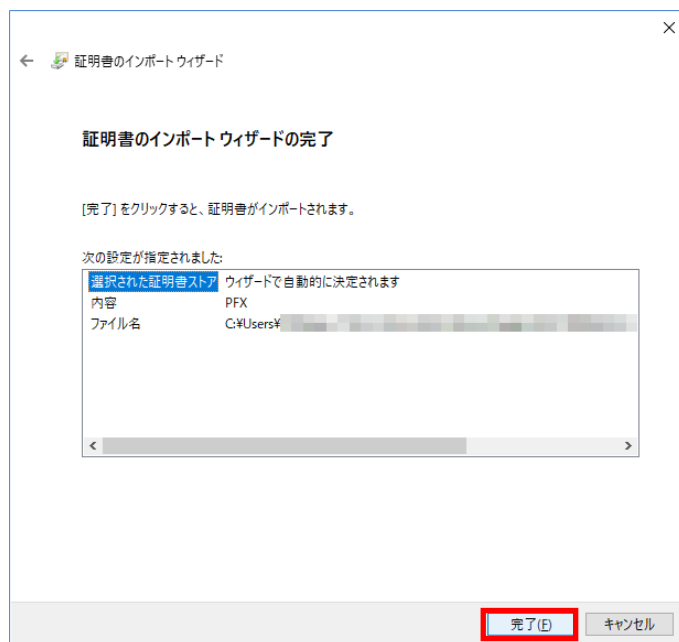
- ⑪ 「全ての拡張プロファイルを含める (A)」にチェックを入れ、P. 18⑤で入力した賃金控除事務支援サービスにログインする際のパスワードをパスワード欄に入力し、**次へ** ボタンを押してください。

The screenshot shows the 'Certificate Import Wizard' dialog box, titled '証明書のインポートウィザード'. The current step is '秘密キーの保護' (Secret Key Protection). The text indicates that the secret key is password-protected for security. A password field is shown with 10 dots, and a checkbox for 'パスワードの表示 (D)' (Show password) is present. Below this, the 'インポートオプション (I):' (Import Options) section contains three checkboxes: '秘密キーの保護を強力にする (E)' (Strengthen secret key protection), 'このキーをエクスポート可能にする (M)' (Allow exporting this key), and '仮想化ベースのセキュリティを使用して秘密キーを保護する (エクスポート不可) (P)' (Use virtualization-based security to protect the secret key (export not possible)). The option 'すべての拡張プロファイルを含める (A)' (Include all extended profiles) is checked. At the bottom right, the '次へ (N)' (Next) button is highlighted with a red box, along with a 'キャンセル' (Cancel) button.

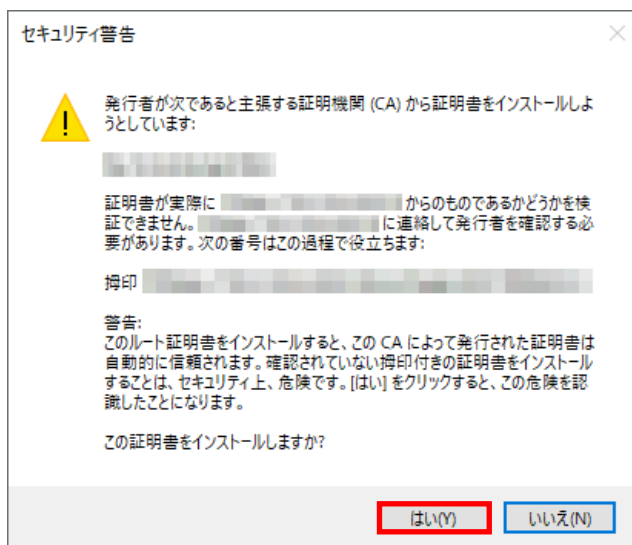
- ⑫ 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する (U)」にチェックを入れ、**次へ** ボタンを押してください。

The screenshot shows the 'Certificate Import Wizard' dialog box, titled '証明書のインポートウィザード'. The current step is '証明書ストア' (Certificate Store). The text explains that the certificate store is a system-level area where certificates are stored. It notes that Windows can automatically select a store, but the user can specify a location. Two radio button options are shown: '証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する (U)' (Automatically select certificate store based on certificate type) and '証明書をすべて次のストアに配置する (P)' (Place all certificates in the following store). The first option is selected and highlighted with a red box. Below the options is a text field for '証明書ストア:' (Certificate store) and a '参照 (R)...' (Browse...) button. At the bottom right, the '次へ (N)' (Next) button is highlighted with a red box, along with a 'キャンセル' (Cancel) button.

⑬ **完了** ボタンを押してください。

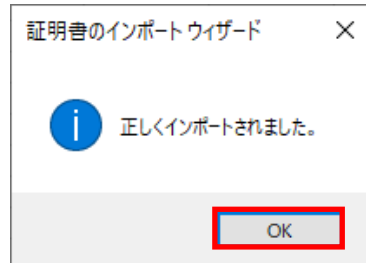


※セキュリティの警告が表示される場合は、**はい** ボタンを押してください。

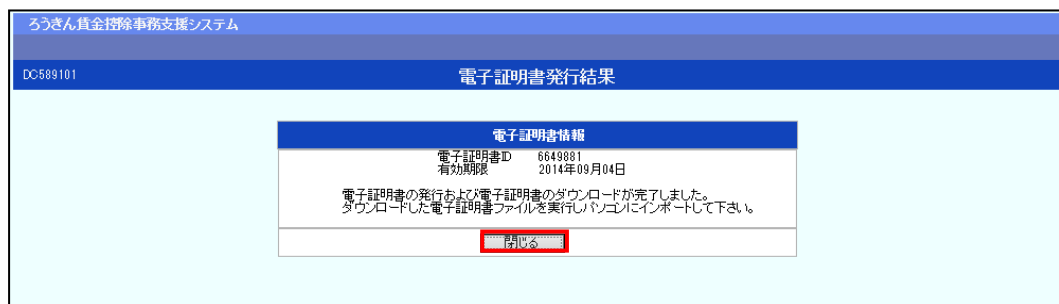




- ⑭ 「正しくインポートされました。」とポップアップが表示されると電子証明書のインポートは完了です。 **OK** ボタンを押してポップアップを閉じてください。



- ⑮ **閉じる** ボタンをクリックします。(ブラウザを全て閉じて終了します。)



以上で電子証明書取得の作業は完了です。